

**パネルディスカッション：**  
**食の情報検索～おいしさはどうやって評価するのか？～**

パネリスト：

**井手 一郎**（名古屋大学大学院情報科学研究科 准教授）

略歴：

2000年 東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻 博士課程修了。博士（工学）。これまで、放送映像、なかでもニュース・料理・スポーツ映像を対象とした内容解析・索引付け・構造化及びその実世界応用に取り組んできた。また、料理及び食活動に関する国際ワークショップシリーズ（CEA：2009～2012）の企画及び電子情報通信学会食メディア研究会の運営に携わってきた。公私ともに料理及び食に強い興味を持っている。これまでに、料理番組やレシピなど既存の料理コンテンツを用いた新たな調理支援方法について研究してきた。

**中島 伸介**（京都産業大学 コンピュータ理工学部 准教授）

略歴：

1997年 神戸大学大学院 機械工学専攻 博士前期課程修了。2000年 京都大学大学院 環境工学専攻 受託研究員（1年間）。2004年 京都大学大学院 情報学研究科 博士後期課程修了 博士（情報学）。2004年 情報通信研究機構 専攻研究員。2005年 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助手・助教。2008年 京都産業大学 コンピュータ理工学部 准教授（現在に至る）。主に、情報推薦、ブログマイニングに関する研究に従事。食に関わる情報推薦（信頼性の高い評判情報推薦、個人の嗜好を考慮したレシピ推薦など）の研究を行ってきた。

**森下 幸俊**（大日本印刷株式会社 C&I 事業部情報技術本部第1開発室  
食品推薦システム研究開発チーム チームリーダー）

略歴：

1980年愛知県生まれ、2003年同志社大学エネルギー機械工学科を卒業し、同年より大日本印刷株式会社に勤務。企画の仕事を経て、2010年より同社で食品スーパー生協業界を対象にした生活者目線の販売促進サービスの研究開発を行っている。生活者が食品の購買に至るまでの思考プロセスに着目し、主婦の献立決定を助ける仕組みとして、「気分による献立推薦システム」を開発し食品の販売促進サービスとして展開している。主婦が献立を決め購買行動を起こす際の思考プロセスの調査研究に取り組んできた。

パネルコーディネータ:

**山肩 洋子** (京都大学大学院情報学研究科 准教授)

略歴:

2000年 京都大学工学部卒業. 2002年 同大学修士課程修了. 2005年 同大学博士課程単位認定退学. 博士 (情報学). パネリストの井手氏と同様, 料理及び食活動に関する国際ワークショップシリーズ (CEA: 2009~2012) の企画及び電子情報通信学会食メディア研究会の運営に携わってきた. カメラにより調理者の調理行動を観測, 認識することで調理状況を把握し, 適切なタイミングでアドバイスするスマートキッチンを開発中. さらに最近では, レシピテキストを自然言語解析により構造化することで, 表記の違いではなく, 調理手順の違いに着目してレシピを検索する手法の研究を行っている.